

中央大学理工学部精密機械工学科同窓会

最近の大学ハイライト:

専門大学院発足、充実する大学院教育・研究
後樂園キャンパス高層新棟着工
大学創立 125 周年事業スタート



中央大学HP (<http://www.chuo-u.ac.jp/>) より転載



同窓会 会長
加 部 和 幸
(1969年度卒)

同窓会の新たな発展を目指して

役員一丸となって以下の事業を推進いたしますので今後とも一層のご支援をお願いします。

- 1. 同窓会名簿関連事業**
 - (1) 既卒者および新卒者の名簿記載内容の更新に努めます。
 - (2) 2003年春季に名簿追録を発行します。
 - (3) 企業、OBの広告掲載を募ります。
- 2. 同窓会主催講演会**
 - (1) 2002年の秋季(大学祭期間中)に同窓会主催で技術講演会を開催します。
- 3. 同窓会交流事業**
 - (1) 2002年の秋季に同窓会懇親会を開催します。
 - (2) 12月にOBによる在学生(3年生、修士1年生)への就職関連支援事業を実施します。参加企業を募集します。
 - (3) 社会的あるいは学術的に顕著に貢献した在学生、同窓生の表彰を行います。

昨秋の同窓会総会において、村奈嘉前会長の後任として同窓会会長に就任いたしました。現在、民間企業において研究開発に携わっております。母校を卒業してほぼ30年余となりますが、母校への熱い想いをもって同窓会発展に尽力させていただく決意しておりますので、同窓生の皆様の絶大なご支援とご指導をお願いします。

理工学部最大の卒業生を擁する精密機械工学科同窓会の発展は、母校を同じくする卒業生の皆様方の発展と親睦につながり、加えて母校の発展に貢献するものと考えております。活発な会員相互の交流と連携こそ、同窓会発展の源泉です。同窓会は皆様自身のための組織です。正会員を増強し、活発な同窓会事業を推進したいと計画しておりますが、皆様方会員ご自身の参画を強く期待しております。

目次:

技術講演会開催	2
就職相談会開催	2
OBが卒業式学員代表祝辞	2
新棟着工と募金協力	3
角田教授最終講義	3
小滝富雄名誉教授叙勲	3
正会員入会キャンペーン	4

2001年度版同窓会名簿・追録が完成、頒布中です!

学科創立第1期から2002年3月までの半世紀余にわたる精密機械工学科卒業生の氏名、住所、勤務先などの情報満載の名簿が完成。実費5000円にて頒布中です。お申込みは同窓会事務局まで。
広告掲載希望も事務局までご連絡ください。

同窓会名簿への有料広告掲載
募集

企業、同期会のPRに最適

同窓会会報への有料広告掲載
募集

2001 年度同窓会主催事業

技術講演会開催

理工大学祭による研究室公開とあわせての同窓会主催技術講演会が2001年11月3日午後4時より2時間にわたり後楽園校舎5号館5235教室にて開催されました。最初に同窓会村奈嘉会長(1962卒)が挨拶し、続いて次の二講演が行われました。

(1)中央大学理工学部名誉教授 小林 直太 先生
「都市パニックとその対策」

(2)㈱アカシ 取締役 鹿熊 英昭 氏
(1965年度卒)

「地球の振動を測る」

講演は同窓会正会員、名誉教授、現教職員、在学生など多数が聴講し、ほぼ満員となる盛況でした。その後の懇親会も大盛況でした。ご協力いただいた講師の方には厚く御礼申しあげます。

2002年度も秋季の大学祭に併せて11月2日(土)に同窓会主催技術講演会の開催を予定しています。ぜひご参加ください。また講師としてお話しされるOBも自薦、他薦大歓迎です。事務局まで。

就職相談会

同窓会主催の就職相談会が2001年12月4日に後楽園キャンパスにて開催されました。これは同窓生の社会での活躍の状況を在校生に知ってもらうとともに、在校生の社会へのスムーズな進出を支援する場として、同窓生のご協力により実現したものです。

対象者は2002年度に就職活動する学部精密機械工学科3年生と大学院精密工学専攻1年生で、相談対応者には同窓生および同窓生所属機関人事担当者をお願いしました。年末の非常に多忙な時期にもかかわらず下記各社の同窓生に大変熱心なご協力をいただきました。在校生も座席が足りなくなるほど多数出席し、熱心に実社会への心構えなどに聞きいりました。

ご協力企業：㈱ニシヤマ、セイコープレジジョン㈱、キヤノン㈱、㈱日産テクノ、横浜ゴム㈱、㈱リコー、ジャトコトランステクノロジー㈱、三菱電機㈱、オリンパス光学工業㈱、ニコン㈱、㈱トヨタテクノサービス

2002年度就職相談会のOBご協力企業を募集中

2001 年度理工学部卒業式にて 87 年度卒 OB が祝辞



2002年3月24日の中央大学理工学部卒業式において精密機械工学科1987年度卒業の松本伸一氏が学員代表として祝辞を述べられ、卒業生、父母、教職員に感銘を与えられました。祝辞のなかで大学生活の思い出を語られた部分のみを抜粋して以下に紹介させていただきます(全文は精密機械工学科HPに掲載)。

私は、精密機械工学科を14年前に卒業し、株式会社ニコンにエンジニアの一人として入社致しました。学部、大学院と6年間を中央大学で学生生活を過ごしました。学生生活を振り返ってみると、「自分にとっていい時代だったなあ」、「ああ、あの頃が自分にとっての青春時代だったんだあ」と懐かしく思い出されます。

先日開催されましたオリンピックを見ていて思うのですが、よく選手達が「ここには楽しむ為に来た」と言っているところが映っています。しかし、本当に、例えば、周りの景色や雰囲気を見て楽しみながらスキーを滑ってもいいタイムは出ないでしょう。私はこの「楽しむ」という事は、今この瞬間を自分のやれるだけの力を振り絞って必死になって精一杯全力を出しきってやりきった時に初めて充実感や満足感が得られ、後になって、「ああ、楽しかった」ということになるのではないかなと思うんです。

例えば、私は、修士論文を英語で作成しちゃいました。その結果、発表も英語でやることになってしまいました。今思い起こすと、顔から火が出るくらいつたないものでしたが、でも、当時お世話になりました恩師の古川浩先生や実験講師の笠松勇先生等多くの先生方はそれを温かいお気持ちで見守って下さいました。

そのような恵まれた環境の中でしたので私も自分のやれるだけの力を振り絞って必死になって精一杯頑張れたんだと思います。そして14年後の今、学生生活を振り返ってみると懐かしく思い出されるんだと思います。

でも、その当時は、毎日実験に追われ、卒論や修論の締切の直前になると必ずとっていいほど二晩くらいは徹夜して作成した事を覚えております。その当時は必死でした。夢中でやっていたんです。

でも、その当時は、毎日実験に追われ、卒論や修論の締切の直前になると必ずとっていいほど二晩くらいは徹夜して作成した事を覚えております。その当時は必死でした。夢中でやっていたんです。

(祝辞抜粋)

新棟完成イメージ



学科の工作機械や風洞が設置されていた後楽園キャンパス理工学部3号館に懐かしい思い出をもたれている方も多いかと思えます。現在、この3号館は撤去され、新たに14階建て高層新棟が建設中で、来春2003年2月には完成予定です。やがてJR中央線からも新棟の雄姿が遠望できるでしょう。

この新棟は中央大学創立125周年（2010年）記念事業の一部として総額61億円の予算で建設されるものです。

総面積が1万9千m²の新棟建設により、後楽園キャンパスでは、

(1)理工学部・大学院理工学研究科・理工学研究所の教育・研究の一層の充実

(2)産官学共同研究(地球環境研究所等の設立を含めて)の推進

(3)中央大学高校の教育施設の拡充

(4)大学全体の都心展開のための施設整備

が実現します。精密機械工学科の教育・研究設備の一部も新棟に入る予定です。

精密機械工学科同窓会ではこうした本学創立125周年記念事業に要する資金の調達のための募金に賛同し、積極的に協力いたしております。皆様のご協力をお願いします。

募金の種類: 個人による寄付と、法人による寄付。

個人の場合、1口5万円となっておりますが、金額に関わらずありがたくお受けします。寄付に際しては、同封の寄付申込書・記入例をご利用いただければ幸いです。

連絡先: 〒192-0393 八王子市東中野 742-1

中央大学創立125周年記念事業募金

推進本部 事務局

TEL 0426-74-2437 Fax 0426-74-2435

角田和雄教授 ご退職

小滝富雄名誉教授 叙勲



精密機械工学科において7年間にわたりトライボロジ、計測などの教育・研究に貢献された角田和雄教授が2002年3月に定年退職されました。

これに先立つ1月12日には同教授による「あるトライボロジス

トの歩いてきた細い道」と題する最終講義が行われました。民間企業での技術開発の経験や「教えられるから学ぶのではなく、学ぼうとするから教を乞うのである」といった多くの格言を引きつつ2時間にわたった講義は、大教室満席の同窓生、企業関係者、教育・研究関係者に深い感動をあたえられました。

今後のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

40年余の永きにわたり精密機械工学科で教育と研究に携わられた小滝富雄名誉教授が2001年秋の叙勲において勲三等瑞宝章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。

同窓会を代表して村奈嘉会長よりご祝いをさせていただきます。先生のますますのご健康とご活躍を祈念いたします。

学部長退任 大久保信行教授

同窓会副会長の大久保信行教授（1968年度卒）は1997年10月より2期4年にわたり理工学部長の重責を担われてきましたが、2001年10月に退任されました。学部発展のためのご尽力御苦労様でした。今後はこれまで以上に大学、学科、同窓会の発展にご活躍いただけるものと期待しております。

最新住所を同窓会事務局へお知らせください

精密機械工学科同窓会では11000名余の同窓生の名簿を定期発行しております。しかし昭和30年代～50年代の同窓生の現住所不明が多くあります。名簿の信頼性を高め、各種連絡通信費の無駄を省くために、卒業当時の住所と異なる方は現住所を事務局宛お知らせください。また通信費を合理化するために、E-Mailアドレスの登録も推進しております。同級生、同期会等での住所情報提供もお願いします。

同窓会正会員入会手続きのお願い

精密機械工学科同窓会に仲間入りして「正会員」となっていただくために、会則の定めにより、郵便振替依頼書にて「入会金(10000円)」を下記同窓会口座にお納めくださるようお願い申し上げます。現在のところ、年会費不要で運営しております。同窓会運営に必要な経費(郵送料等)へのご寄付も併せてお願い申し上げます。

正会員には今後開催される種々の同窓会活動のご案内や年報を継続的に送らせていただきます。また50年間余11000名にのぼる卒業生の現況が一目瞭然の「同窓会名簿」をお渡しいたします(今回入会された方には2001年版は無料。ただし次号以降の名簿は有料配布となります)。同窓会を通じて未永く諸先輩、同期生、後輩、精密機械工学科と固いきずなを結んでいくために、同窓会への入会手続きと入会金納入ならびにご寄付を是非お願いします。



1961年(第9期生卒)当時の工学部、精密工学科の懐かしい風景です。同窓会を通じてあの青春時代を再び共有しませんか。入会をお待ちします。入会された正会員のみにこの同窓会年報を今後とも継続送付させていただきます。今回は入会キャンペーンとして非会員にもお送りします。



ただ今、昭和30年代～50年代の卒業生の正会員入会キャンペーンを推進中！ ぜひ精密機械工学科同窓会へ入会を！

インターネットHome Pageをご覧ください！

精密機械工学科 <http://www.mech.chuo-u.ac.jp/>

同窓会情報も見られます

中央大学 <http://www.chuo-u.ac.jp/>

キャンパス写真満載

中央大学理工学部精密機械工学科同窓会

事務局：〒112-8551 文京区春日1-13-27

中央大学理工学部精密機械工学科気付 精密機械工学科同窓会

TEL 03-3817-1819 Fax 03-3817-1820

E-Mail mech_ob@mech.chuo-u.ac.jp

郵便振替 口座番号 00180-4-119109

口座名 中央大学理工学部精密機械工学科同窓会

同窓会会報編集： 庶務幹事 井上英夫

庶務・会計幹事 戸井武司